

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 福島県只見町立朝日小学校
 種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()
 所在地 〒968-0441
福島県南会津郡只見町大字黒谷字九日田230-1
 E-mail asasyou@tadami.ed.jp
 Website _____
 児童生徒数 男子 32名 女子 37名 合計 69名
 児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（地域愛）

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

(1) 「ESD」の体制づくり（小学校・中学校・高校の連携、交流）

ESDを推進していくためには、まず体制作りが大切である。持続可能にするために、地域や町が連携し合う体制作りこそが必要不可欠である。

只見町には3つの小学校と1つの中学校、さらに高校が1校ある。今年度は、その各校の代表によって「ESD研究部会」を結成した。そのことによって縦の『つながり』さらには横の『つながり』も確立しつつある。これは、小・中・高あわせて12年、ESDでの能力・態度を系統立てて身につけさせていくことが可能となる体制が整ってきていると言える。



(2) 地域や関係機関とのつながり

① ブナセンターとの連携

今年度学校全体を通してESDの研究を進めている。各学年テーマを持って取り組んでおり、3年生のテーマは「只見の四季・自然」とし、年度当初の計画の段階からブナセンターと連携をし、活動を進めている。3年生にとっては、まさしく学習拠点としての役割を担ってもらっている。



② 朝日振興センターとの連携

- ・ 7月9日(木)朝日振興センター事業「あすなる学級」との連携。

昨年度も朝日振興センターの事業と何度か連携を行ってきたが、授業参観が主だった。今年度は、先生方の要望、振興センターの要望を生かして双方向の活動ができるように計画し実行した。内容は、次の通りである。

- ・ 1年 昔遊び、語り部
- ・ 2年 昔遊び、語り部
- ・ 3年 植物を使った遊び
- ・ 4年 なわなひ
- ・ 5年 ぞうきん縫い



③ 只見町赤十字賛助奉仕団、消防署との連携

平成23年7月29日の新潟・福島豪雨災害以降実施している「防災教育」を、昨年度までは「育てたい力」の「語り継ぐ力」に焦点を当てて取り組んできた。

そこで、今年度は、「只見町赤十字賛助奉仕団」と連携して「普段あるいは発生時に、自然災害や事故に対処して行動しようとする力」に焦点を当てて取り組むことにした。各ブロックの主な内容は次の通りである。

- ・ 1、2年生

地域の渡部スミ子様を講師にお招きし、当時の様子や避難の仕方について講義をして頂いた。



- ・ 3、4年生

災害が起きた時の、朝日振興センター、学校の避難場所の様子を知るとともに、避難してきた後「どんなものがあつたか？」等考えたり、非常食として熱に強いポリエチレン袋



(ハイゼックス袋)を使ってご飯を炊いたりといった活動を「只見町赤十字賛助奉仕団」と連携して行った。

・ 5、6年生

町の消防署員を講師に招き、これまでも自然災害によって多くの町民が命をなくしてしまった事実を理解し、AEDを使用した心肺蘇生法の体験をとおして、命を守ることの大切さを理解することができた。



④ その他教育施設との連携

6年生のテーマが「只見の歴史 過去から未来へ」である。その「大昔にタイムスリップ」で〈只見考古館〉を、さらに「只見に名を残した人々」では「河井継之助館」を活用した。ユニットごとに体験活動、探求活動を実施している



⑤ 地域との連携 (外部講師)

・ 2年生

生活科の「もっと なかよし まちの人」の单元の中で、地域の方をゲストティーチャーに招聘し、「昔遊び」「只見弁・語り部」の活動を行った。

また、それらをまとめて学習発表会では、只見の昔話(只見弁)の発表へとつながった。さらに、町の文化祭では数年ぶりの「民話茶屋」の復活に一役買い、当日は町民の前で民話の発表を行った。



・ 5年生

5年生のテーマは「只見の食と農」である。地域の方を講師に、「只見の郷土食」には昔の人のどんな願いや思い工夫が詰まっているのか、またその作り方などを教えていただいた。今後は、創作郷土料理に挑戦していく。



・ クラブ活動

本年度は、クラブ活動で年間を通して計画的に外部講師を招聘し、活動を行ってきた。

- ☆ 家庭科クラブ・・・郷土料理
- ☆ 運動クラブ・・・グランドゴルフ
- ☆ まんが、パソコンクラブ・・・イラスト、デッサン



(3) 学校運営協議会(コミュニティースクール)を活用し、指導内容と協力者の開拓を行う

① 学校運営協議会とは

これまでも学校では地域や保護者からの声を大切にし、また、良好な関係を築くことに努め、学校運営を進めていきましたが、今後ともよりよい学校作りを地域や保護者と共に進めていく環境づくりのためのものです。

本校は、平成26年3月1日にコミュニティースクールに指定された。

② 学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)とは、学校運営に地域や保護者の声をいかす新しい学校運営の仕組みで、地域や保護者の代表からの意見を学校運営に反映していくものです。



第1回
4月23日(木)
・学校経営・運営ビジョンの共通理解
・学校が地域と連携して進めた方がよいものについて。



第2回
11月19日(火)
・今年度の校経営・運営ビジョンの反省
・学校の現状と課題の説明

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）